

a) 九州新幹線の利用促進

平成23年3月12日に全線開業した、九州新幹線鹿児島ルートに接続する二次交通を整備することで、一層の利用促進を図るべく、地域公共交通確保維持改善事業により、各連携協議会が様々な事業を行った。

b) フリーゲージトレイン等の技術開発の推進

新幹線と在来線の直通運転が可能となるフリーゲージトレインについて、更なる軽量化等を図ることにより、より営業車に近い新試験車両の技術開発を支援した。

(本省においてフリーゲージトレインの技術開発等(速度、可変技術等)を支援している。)

c) 都市鉄道の整備

大都市圏における既存の鉄道施設を有効活用し、速達性の向上や乗り継ぎ円滑化を図るための施設の改善など、利用者の利便増進のための事業の掘り起こしに取り組み、活力ある都市活動及びゆとりある都市生活の実現を目指すこととしていたが、平成26年度については、案件の事業化までには至らなかったが、今後も引き続き取り組んでいく必要がある。

d) 低床式路面電車システム(LRT)の導入

地方鉄道の活性化・再生に向けた取り組みを推進するとともに、低床式で乗降がしやすく、高い速達性や定時性を有し、環境にもやさしいなど優れた特徴を持った公共交通システムであるLRTをまちづくりと連携して整備することにより、人にも環境にもやさしい社会や高質な交通ネットワークを構築し都市や地域の再生を図ることとしていたが、平成26年度においては、地域公共交通確保維持改善事業費補助の案件がなかったが、今後も引き続き取り組んでいく必要がある。